

事務事業名	高齢者健やか事業	整理番号	22301-020
所管	社会福祉課 福祉総務・高齢者スタッフ		

事務事業の位置付け

期間	昭和 63年度 ~ 平成 年度	根拠法令・要綱等	御殿場市はり、灸、マッサージ治療費助成事業実施要綱 御殿場市温泉会館利用無料券交付事業実施要綱
基本計画における位置付け	基本政策 政策	2-2 福祉の充実 2-2-3 高齢者福祉の充実	関連 政策

事務事業の内容

目的 (何のために)	生きがいと健康づくりのできる場所を提供し、高齢者の健康増進を図る。
対象 (誰・何を)	はり・灸・マッサージ治療費助成券 ... 市内に住所を有する65歳以上の者 温泉会館等無料券 ... 市内に住所を有する70歳以上の者
手段 (どのようなやり方で)	申請に基づき、対象者一人につき、次のとおり交付する。 はり・灸・マッサージ治療費助成券は年間5枚(1枚につき1,000円の助成)。 温泉会館等無料券は年間5枚。
成果 (どのような状態にしたいか)	高齢者の健康増進に寄与
事務事業の背景・住民の意向	高齢者の健康増進と福祉の増進
見直し改善の経過	

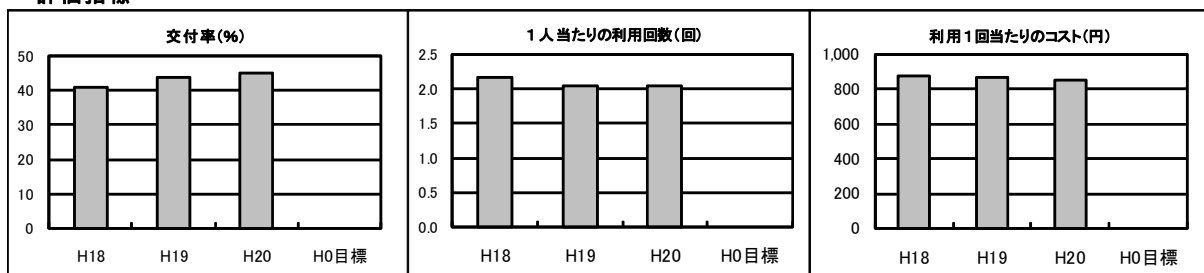
事務事業の実績・投入コスト

年度	事務事業実績			
平成18年度	対象者数	温泉券：10,794人	はり券：15,412人	
	交付者数	温泉券：5,019人	はり券：5,711人	
	利用回数	温泉券：9,753回	はり券：13,454回	
平成19年度	対象者数	温泉券：11,236人	はり券：15,936人	
	交付者数	温泉券：5,620人	はり券：6,237人	
	利用回数	温泉券：10,456回	はり券：13,729回	
平成20年度	対象者数	温泉券：11,546人	はり券：16,439人	
	交付者数	温泉券：5,921人	はり券：6,673人	
	利用回数	温泉券：11,357回	はり券：14,493回	

投入コスト(千円)

年度	直接経費(上段)	人件費(下段)
18年度	18,000	2,000
19年度	19,000	2,000
20年度	20,000	2,000

評価指標



事務事業の評価

担当部署の評価		コメント	今後の方向性
観点別評価	必要性	高齢化が進む中で、医療費や介護費等の増大を抑制する意味においても、高齢者が心身共に健やかに生活できる環境づくりが重要となっている。本事業はその施策の一つとして、必要性や有効性等、それなりの評価ができる。	継続
	有効性		
	効率性		
総合評価	B		

改革プラン

平成21年度からの対応	自力での移動手段のない高齢者でも行けるよう、温泉券を高齢者の付添の者(1名まで)も利用できるものとし、配布枚数を1枚増やした。
平成22年度以降の対応	各支所より要望のある配布方法を見直し、平成23年9月の敬老会から、敬老祝い金に合わせて券を配布する方法としたい。
改革により予想される成果	高齢者が各支所や本庁へ赴く手間が無くなる。 各支所・本庁へ訪れる約7,000人の窓口申請受付事務が無くなる。

事務仕分けの結果

仕分け区分	今後の方向性・具体的な対応
市の実施(改善)	<ul style="list-style-type: none"> 助成事業は、何らかの形で継続する必要があるが、今後の対象者の増加予測を作成し、近隣市町の動向も参考にしつつ、敬老祝い金事業等を含めて、全体での検討を要する。 無料券については割引券、助成券への変更、助成券については枚数の削減等を今後、検討していく必要がある。
仕分け理由	
高齢者の健康維持に必要な事業であるが、高齢者人口が増加し続ける中、扶助費を削減できない。	